



2017.
5月号

社協マスコットキャラクター
ゆりちゃん（本名：国府ゆり）

いしおか 社協だより



題：「山里に十二仏（円空）」

中野範子さん（石岡市石岡）が「第21回茨城県健康福祉祭いばらきねんりん文化祭わくわく美術展 日本画の部」において茨城県知事賞を受賞しました。おめでとうございます。

プラチナファッションショー2017 in 石岡 開催！

明日への挑戦・・・いざ、ときめきのステージへ

- 開催日時 平成29年7月8日（土） 13時開演
- 会場 ふれあいの里石岡ひまわりの館 ふれあいホール
- 出演者 高齢者 / 一般
- 主催 石岡市社会福祉協議会
石岡市ボランティア連絡協議会
石岡市いきいきクラブ連合会
- 後援 石岡市
- 問い合わせ 石岡市社会福祉協議会



皆様のご来場をお待ちしています！

『この広報誌は、皆様からの社協会費によって作成されています。』

平成29年度石岡市社会福祉協議会 事業計画・予算

基本方針・新規事業の紹介

近年の少子高齢社会と人口減少の進展により地域の活力が失われる中、地域内の住民同士のつながりも希薄になることが懸念されます。そのため地域における人と人との関係づくりの再構築、住民相互で支援活動を行うことのできる包括的な支援体制づくりが重要な課題となっています。また、災害発生時における迅速なボランティアの受入体制の強化など課題も多くなっています。

このような課題認識のもと、本会では地域で誰もがいきいきと安心して暮らすことができるように、地域の絆づくりを目的とした事業、子どもの健全な育成と子育て親への支援を目的とした事業、在宅での介護支援を目的とした事業として、次の5事業を新規に実施します。

① **市民交流の場の創出を目的としたイベントの開催**
地域の活性化と市民の絆づくりを目的とし、子どもを主体とした市民交流の機会となるイベントを開催します。

② **子育て親応援事業**
子育て世帯の男性が安心して育児ができるように、家事と育児等の講座を開催します。

③ **介護技術等研修会の開催**
退院後の在宅介護や、日常生活で家族による介護が必要な時に、介護技術や知識を習得するための介護技術研修会を開催します。

④ **災害時における他社協との連携推進**
災害が発生した場合に相互に協力して、被災者支援や活動が行えるように、東京都文京区社会福祉協議会と協定を締結します。



平成29年度予算

収入の部

収入科目	予算額	
会費収入	9,430	2.75%
寄附金収入	1,500	0.44%
経常経費補助金収入	138,205	40.33%
受託金収入	99,340	28.99%
介護保険事業収入	12,916	3.77%
障害福祉サービス等事業収入	5,510	1.61%
事業収入	15,120	4.41%
その他の収入	30,288	8.85%
前年度繰越金収入	30,336	8.85%
収入合計	342,645	100.00%

支出の部

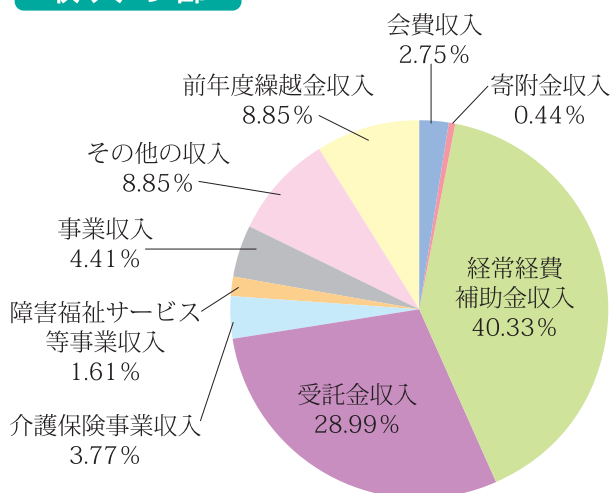
支出事業名	予算額	
法人運営事業	88,883	25.94%
補助金事業	83,786	24.45%
介護保険事業	28,987	8.46%
障害者事業	5,510	1.61%
共同募金配分金事業	14,619	4.27%
善意銀行運営事業	16,823	4.91%
基金運営事業	1,207	0.35%
受託事業	102,830	30.01%
支出合計	342,645	100.00%

(単位：千円)

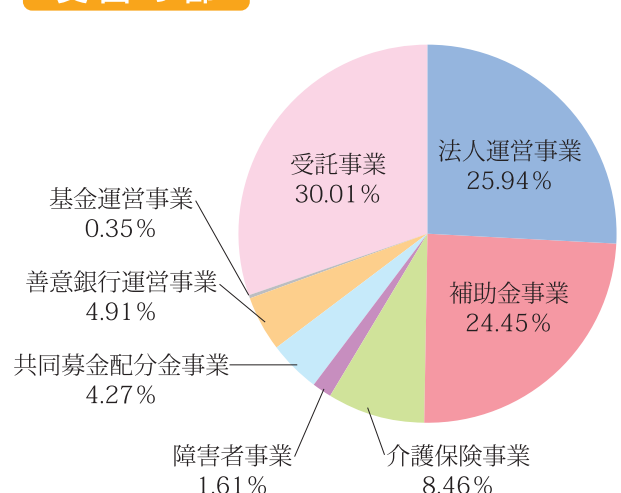
⑤ **災害食調理コンテストの開催**
災害時に命を守る取り組みの一つとして「食」に着目し、災害時に対応できる調理コンテストを開催します。



収入の部



支出の部



第2回石岡市の地域福祉を考える集い 意見発表内容紹介 No.2

1月14日(土)「第2回石岡市の地域福祉を考える集い」が開催され、石岡市を明るく活気あふれる街にしていくにはどうしたらよいかについて、高齢者や学生、子育て中の親など10名の方々が、それぞれの立場から意見発表を行いました。3月号で紹介できなかった4名の方々の意見発表をご紹介します。(敬称略)

私の子育てと仕事

小学校教諭

金敷 由紀



昨年3月30日息子が生まれ、私は母になりました。私は土浦市内の学校で教師として働いています。

現在育児休暇をいただき、子育てをしています。第一子である息子が生まれ、出身地ではないこの地での子育ては、正直不安もありましたが、現在は様々な支えがあり、楽しく子育てしながら生活を送っています。

今まで、石岡市に住んではいましたが、様々な福祉のサービスや支援には縁遠かったところがあります。ホームページや、広報誌、市役所などで情報を得て、それらを効果的に活用していくことができれば、住みやすく安心して暮らすことができ、様々な方々に支援していただけることを出産後改めて知りました。

その具体的に感じた理由は以下の2点にあります。まず1つ目は、石岡市が子育てに大変協力的であるという点です。買い物等で様々なサービスを受けることができる、いばらキッズカードは妊娠が分かった時点で母子手帳と一緒に交付されました。また保健センターの方の赤ちゃん訪問では、小さな不安も話題にすることができたり、すくすく赤ちゃんクーポン券の配布もしていただきました。紙おむつが主流になっていて、大変ありがたいサービスです。生涯学習課主催の子育て支援「ほっとスペース」も義母の勧めで月一回集まっていますが、祖母くらいの年の方々ともふれあい、可愛がってもらっている経験は、核家族の方々にとっては大変素晴らしい経験になると感じました。

2つ目は、親側の支援の充実です。その中でも、地域子育て支援センターでの活動の成果があるように感じます。石岡市内には、保育園に併設されている6つの支援センターがあります。ベビーマッサージや、季節ごとのものづくりなどを通して、同じくらしいの子をもつ親同士話をする機会を得ることができました。また、看護師の話や、コーディネーターさんと話す機会もあり、気軽に育児の話ができ、育児の疑問や、仕事に復帰してからのことなど相談することができそうです。

私は育児休暇中なので、取得した休暇が終われば仕事に復帰することになります。現在は、主人と私で分担している家事も、担任というフルタイムで働く仕事となると変わってきます。これが異動をして中学勤務となると土日は部活動があります。そうすると、家族だけではなかなか難しく、より多くの方々の支援が必要になってきます。祖父母はもとより、幼稚園や保育所の延長サービスや、日によつては土曜日の保育なども利用しなければなりません。子育てがひと段落した祖父母世代の方々の支援の必

要性は、私たち家族だけではなく、これから切っても切り離せない時代になってくると思います。女性も数多く働いている時代だからこそ、共働き世代にやさしいまちづくりも合わせて推進していく必要があると考えます。

私の職場では幸いにして、様々な支援が受けられます。妊婦検診や、子どもが風邪を引いた時、そして予防接種の受診時などの時には、特別休暇を取得することができそうです。

私は切迫流産で、産前休暇に入る1カ月前に診断をもらい、職場を休むことになってしまった時も、療養休暇と言う休暇を得られ、無事に出産することができました。このように自分自身や、子どもを様々な形で守ってもらえる、そんなサービスを受けることで、安心して子育てに励むことができます。

しかし、お子さんがいる方と話していると、「もう少し早くから遅くまで預けられる場所が欲しい」とか、「日曜日も預かってもらえる場所があったらいいのに」という話を聞いたりします。また、市内に大きな公園は結構ありますが、歩いて行ける公園やちょっとした遊具や休憩できるあずま屋、そして雨の日でも遊ばせられるような場所は少ないように感じます。何が今課題となっているのか、子育てしているお母さんたちの意見をアンケートなどで直接聞くことも、今後よりよい福祉や行政サービスを運営していく上で、極めて重要であるように感じます。特に共働きが多くなってきた昨今、よりよい福祉や行政サービスの提供は近々の課題になってくると考えるからです。その中から子育てに関わるちよつとしたヒントを得て、子どもを産んで石岡市でよりよく子育てできるように環境が1日も早く整備できていくといいな、と考えます。

現在2月末で10カ月になる息子と育児に家事に努

めております。私のモットーは、「楽しい育児」です。皆が笑顔になれるように、子どもと共に成長し、家族の一員としてがんばりたいと思います。そして、来年から職場復帰し、共働きとなつてからも、自分の背中を息子が見ても恥ずかしくない、そんな生き方をしたいこうと思います。

ガールスカウトでつながる

土浦日本大学高等学校2年

上曾 美沙樹



私は8年間ガールスカウトとして活動してきました。

その中で、ガールスカウトの会員になつていなかったら絶対にできなかったであろう様々な経験が生まれました。

そして、このガールスカウトとしての活動を通じて一番強く感じたのは、人と人とのつながりです。もつとも身近な市内の団をはじめとして、県内や全国のスカウトとの交流をする機会がありました。その中で様々な学年、年代の女性と交流することが出来ました。

他県のスカウトとの文化や、社会で活躍する女性の講演会などに参加することで、自分の世界がとてつもなく広がったような気がしました。

日本全国や世界中の女性と、同じガールスカウトであるというだけで仲間意識が生まれ、私もそのガールスカウトの一員であるという事をとても誇りに思っています。

また私はこれから大学に進みたいと考えていますが、ガールスカウトとしても、導かれる側でなく少女会員を導くリーダーとなります。私が今までのリ

ダーたちに導かれ、様々な知識を教えてもらい憧れてきたように、今度は私たちが少女たちのお手本、つまりロールモデルとなれるように努力する番です。

近年日本の少女会員は減少している傾向にあり、私の周りでもガールスカウトという言葉すら聞いたことのないという人もたくさんいます。とても残念に思いますし、もつたいたいと思います。

ガールスカウトの活動というのは大変なものではなく、地域での身近な活動もたくさんあります。私たちの団では、老人ホームを訪問しお花見やクリスマス会でお年寄りの方たちと交流しています。また毎年商工祭にも参加していて、すいとんの販売、ユニセフ募金活動を行っています。

年に一回の団キャンプでは、災害時でも生きていけるように、テントを張ったり野外炊爨くわいせんをします。このように私たちが活動できるのは地域の皆様のおかげです。地域とのつながりを感じることが出来るのは、とても大切なことだと思います。

そしてガールスカウトは社会で活躍している人もたくさんいます。例えば、現東京都知事の小池百合子氏や、先のアメリカ大統領に立候補したヒラリー・クリントン氏はガールスカウトの出身者で政治家として社会に大きな影響を与えています。

私もそのような素晴らしい女性たちをロールモデルとして、社会や地域に貢献できるようになって、次世代の少女たちのよきロールモデルとなれるように今からしっかりと生きていきたいと思っています。

私の感じること

デイサービスセンターのぞみ相談員

小松崎 純子



私は、ひまわりの館の隣にある「のぞみ」という施設で、デイサービスセンターの生活相談員という仕事をしています。生活相談員とは、デイサービスの利用を希望されている方の調査や、担当ケアマネジャーさん、ご家族との利用の調整や契約、利用開始してからの意見の確認や状態の変化の把握等を主な仕事としています。他にも、細かい仕事はありますが、デイサービスセンターの窓口として働いています。

今回、この場での発表のお話をいただいてから、どんなことを話そうか、とても悩みました。「石岡市の地域福祉を考える集い」ということもあり、仕事をしている中で感じている事をお話しようと思えます。

私は石岡で生まれ、高校生まで石岡に住んでいました。短期大学時代は東京にいましたが、就職とともに石岡に戻ってきました。短大を卒業してから「のぞみ」の介護の現場で働き、産休育休を取りながら6年ほど前からデイサービスの相談員として相談業務についています。

介護の現場で働いていたころは、目の前にいる利用者様の毎日のケアで精一杯でした。生活相談員になり立場が変わり、利用される方の周囲にいる方も関わる必要が出てきました。

ただ、利用される方だけの支援ではなく、その方をご自宅で介護されているご家族の方への支援や、これまでの地域の中での役割の把握をする事で、結



果的にご利用している方の支援がとても有効なものとなる事に気づきました。ご家族は、毎日のケアの中で、認知症のある方に対してどのように接しているのか、おむつ交換など、本人が安楽にいられるにはどうしたらいいのか、また、ご家族に腰痛がある方にはどのように移動の介助をしたらお互いに負担が少ないのか等、日々悩みながらご自宅で介護をしています。そのようなご相談があった時に、私だけではなく、デイに来て関わっている介護の職員、リハビリの専門職とともに対応を考え、ご家族にお伝えすることで、ご家族の精神的な部分も含めた介護負担軽減につながっています。戦中・戦後の日本を支えた方々は、ご自分の生活の一部として地域の活動にも、とても一生懸命に取り組みされた方が多いようです。調査に行き、昔はどんなことをしていたのか何うと地区の委員や地域の役員等、活動は様々ですが、子育てが一段落してからはそつちの活動を一生懸命になってやっていたよ、という言葉をよく聞きます。しかしその話と同時に、高齢となり、近所の友人宅へお茶飲みに行くにも一人では危ないから、と行けない。仲の良かった人は、皆あの世に行ってしまった。話す相手もない。家の外は病院に行くとき以外は出ない。といった声もよく聞きます。核家族が増え、高齢者だけの世帯やお一人暮らしの高齢者の方も増えてきています。ひと昔前よりも、地域での支援が必要になってきているにも関わらず、なかなかそういった状況は難しいのが今の地域の姿だと思います。地域の中で、それぞれに役割があり、助け合いながら、支え合いながら生活をしていくのが理想であり、デイサービスは、ほんの少し、そのお手伝いができる場所だと捉えて日々仕事をしています。今まで住み慣れた地域での友人関係ではありませんが、新しい友人ができ、定期的に会い、話ができる。お互いに思いやり、元氣

を分け合う。それだけでも、広い意味での地域での役割を持つ事ができます。役割があるということは、生きがいとなり、毎日の生活が生き生きとしたものになります。ご近所関係が希薄となった現代にはとても必要なことなのではないでしょうか。

「のぞみ」では、昨年度から、地域の小学生との交流会を始めました。おじいちゃんやおばあちゃんとの生活をしたことのない子供が増え、高齢者も小さい子供との関わりが減っています。そんな中で、子供達は高齢者に元気を与え、高齢者は一緒に遊ぶことで生きがいを感じています。また、高齢者は日本の昔の遊びを、交流を通して教えています。お互いに分け与え、とても良い効果が見えてきました。生活環境、地域の環境が変わっていく中で、地域の関わりのある方もっと多様な物に変えていく必要があると思います。高齢者となっても、要介護状態となっても、地域から必要とされる存在であり、住み慣れた地域で生きがいを感じながら生活していくことが出来る様な環境作り、関係作りができると思います。

これからも、私たちは、笑顔で毎日の生活に生きがいを感じられるようにお手伝いをしていきたいと思えます。この地域の方にも求められる施設として役割を担っていききたいと思えます。



笑顔で広げよう介護予防の輪

在宅介護支援センターねあたり相談員

中江 良子



石岡市在宅介護支援センターねあたりの中江と申します。相談員として勤務し今年で10年目となります。テーマにあげた「笑顔で広げよう介護予防の輪」について実際に行

っている活動をお話しさせて頂ければと思います。

その前に、石岡市在宅介護支援センターについて説明します。石岡市在宅介護支援センターとは石岡市から委託を受け、高齢者やその家族から生活や介護などの相談を受け付け、必要と思われる福祉サービスを紹介しています。市内6ヶ所に在宅介護支援センターがあり、ここには介護に携わる専門的な職員が配置されています。

高齢者の生活を支援する石岡市地域包括支援センターや社会福祉協議会と協力し、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように支援させて頂いています。因みに私の担当地区は北小学校区と府中小学校区の地域になっています。毎年市報には顔写真入りの在宅介護支援センター相談員の紹介もあり、市民の皆様にご覧に入られています。

介護予防教室では、各在宅介護支援センターの特色を生かしシルバリーリハビリ体操指導士会の協力のもと、身体的な介護予防を含め、認知症予防のドリル配布や、腹話術の人形を使って様々な情報を伝えています。例えば感染症、熱中症対策、インフルエンザの予防、食生活、詐欺被害等々です。ただ私が話しをさせて頂くより、腹話術の人形を使うことで、場が和み参加された方々が笑顔になります。

昨年の8月から府中地区公民館をお借りして、介護予防教室を開催しています。皆さんシルバークラス等に参加して下さる方もいます。ご夫婦仲良く参加される方等人数は30名程度です。内容として最初の1時間はシルバークラスハビリ体操指導士さんによる体操で、転倒予防や筋力アップに取り組んでいます。

その後はスマイルタイムです。歌を歌ったり、替え歌体操や納豆体操をしたり、話しをしたりで情報発信しています。ある意味よろず相談の場にもなっています。ここで先月参加された方からの心温まるエピソードを紹介します。「来月も歌を歌うのであればハーモニカを持参して吹いてあげますよ、昔やっていたから」と自主的に言ってくれて下さり、私も伴奏があるといいなと思っていたので、喜んでお願いました。介護予防教室を開催するまでは、私自身正直言って不安でいっぱいでした。参加された方からは、肩がこらなくなった、足が上がるようになった。声が出るようになった。参加するのが楽しみなった等の声も聞かれる様になりました。

これもひとえに今までの介護予防教室に参加された皆様、関わって下さった各関係機関のすべての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんが参加して良かったと思って頂ける様な企画をしていけたらと考えています。そして人生の大先輩の方々と一緒に明るく、楽しく笑顔で介護予防の輪を広げていきたいらと思います。

在宅介護支援センターでこれまで培ってきた地域との信頼関係を生かし今後も顔の見える関係づくりに取り組み、介護予防で石岡を元気にしていきたいと思えます。

トピックス

子ども学習応援事業「ひまわり学習塾」

**平成29年度受験生全員が
志望する県立高校に
合格しました！
おめでとうございます！！**

石岡市いきいきクラブリーダー研修会



3月23日（木）ひまわりの館介護研修室において、平成28年度石岡市いきいきクラブリーダー研修会が開催され、約80名が参加しました。

研修会では社協職員から「社会福祉協議会の実施事業について」と題して、スライドを使用しながらの説明を受け、後半は、事例発表「地区の活動について」と題して、友部富知夫氏、川井よし氏、鬼沢隆氏、宮部幸夫氏、田村貞雄氏の5名が、それぞれの地区及び支部の活動として、親睦旅行や近隣の美化活動、防犯パトロール活動、輪投げ大会などの紹介をしました。

防災ボランティア講演会

2月18日（土）ひまわりの館において、防災ボランティア講演会を開催しました。講演会には、103名の方々が参加し、石岡市防災対策課関町隆行氏から「被災地に学ぶ、防災力向上と安心・安全なまちづくりについて」の講話、八郷保健センター所長武井理江子氏から熊本地震災害支援活動の報告がありました。参加者からは活発な意見や質問が出され、盛況のうちに閉会しました。



復興の思い いつまでも

3月11日（土）ひまわりの館の中庭にある祈念碑前において、石岡市ボランティア連絡協議会主催による「東日本大震災鎮魂と復興祈念の集い」が開催され、同協議会の理事・会員20名が参加しました。



記念碑前で「花は咲く」を合唱する参加者

筆ペン講座参加者募集

手軽な筆ペンで美しく心のこもった文字を書きませんか？

- ◆開講日時：7月13日（木）、27日（木）
8月10日（木）〔全3回〕
午前10時～正午
- ◆開講場所：ふれあいの里石岡ひまわりの館
- ◆講師：倉持一美先生
- ◆対象者：市内在住の方
- ◆定員：36名（定員を超えた場合は抽選）
- ◆教材費：150円
※筆ペンの購入を希望する方は、当日1本300円で販売します。
- ◆申込み：6月20日（火）までに窓口または電話で申込みください。
（土・日・祝日を除く）

**プラチナポイント
対象事業**



高齢者健康農園利用者募集

高齢者が健康で生きがいのある生活を営むため、余暇を利用して野菜、草花等を栽培することができる農園（高齢者健康農園）を貸出ししております。

現在、若干の区画が空いております。興味のある方はぜひご利用ください。

- ◆空き区画
旭台4区画、杉並1区画
（平成29年4月15日現在）

- ◆利用条件
市内在住で60歳以上の方

- ◆利用料 無料
※申込み多数の場合は先着順となります。



乗合いタウンメイト 登録窓口変更のお知らせ

平成29年4月から、石岡市役所での乗合いタウンメイトの登録申し込み窓口が、政策企画課から都市計画課に変更になりました。

なお、八郷総合支所総務課および社会福祉協議会本所・八郷支所での登録申し込み窓口に変更はありません。

◆石岡市都市建設部都市計画課

住所：石岡市石岡1-1-1
石岡市役所 まちづくり館2階
電話：23-1111（代表）



ベビーカー&バギーをお譲りください

社協ではベビーカーやバギーの無料貸し出しを行っています。自宅で眠っている、まだまだ使えるベビーカーやバギーはありませんか？

必要な方へ、リユース（再利用）して有効活用いたします。

※注意点

- ◆使用することが可能な物。
- ◆物品の状態によってはお受け取りできない場合があります。



心配ごと相談

	石岡地区	八郷地区
実施場所	ふれあいの里石岡ひまわりの館	石岡市農村高齢者センター
実施日	6月 2日・16日・30日 7月14日・28日 8月25日（金曜日）	6月8日・22日 7月6日・20日 8月3日・17日・31日（木曜日）
実施時間	13:00～15:00	13:00～15:00

※受付時間は14:30までとなります。

善意銀行 感謝の報告

心温まるお気持ちをお寄せいただきまして、誠にありがとうございます。
お預かりしました善意は、地域福祉の向上のために活用させていただきます。

平成29年2月1日～平成29年3月31日まで(順不同・敬称略)

金品の部

森 淑子	3,000円
中根 弘子	2,000円
土浦友の会	5,000円
ダンシングスタジオUENO	20,000円
石岡市八郷商工会女性部	10,000円
中央公民館 下町文化に触れる講座	1,020円
筑波山地域の神と仏への祈りの歴史講座	3,296円
小幡地区公民館ゴルフ大会	14,801円
石岡市立柿岡小学校4年生	5,542円
龍	6,000円
パンの花同好会 代表 手賀美智子	3,000円

物品の部

匿名	未使用はがき	9枚
カーブス石岡杉並店	食料品	28箱
慈翠館	使用済みテレフォンカード	3枚
ミカド石岡店	お菓子	2箱
パールショップともえ石岡店	お菓子	2箱
阿弥陀院	食料品	3箱
匿名	男性下着	10枚
匿名	米	30kg

※活用させていただくことが難しい物品はお断りする場合があります。
事前にお問い合わせください。

ありがとう
ございました。



使用済切手

◆匿名◆(有)鈴木自動車板金工場◆慈翠館◆丸谷◆ケアプランセンターかいじ◆瓦会郵便局◆協栄線材(株)



ダンシングスタジオUENO 様



カーブス石岡杉並店 様

❖ 食料品の提供のお願い ❖



社協では、生活の困窮等で食料を必要としている方に提供するため、食料品を備蓄しています。家庭や事業所等で提供可能な食料品がありましたら提供をお願いします。

※米、缶詰、レトルト食品、乾麺類、調味料など長期保存ができ、賞味期限内で未開封のものに限ります。

問い合わせ・申し込み

社会福祉法人 石岡市社会福祉協議会

本 所

〒315-0009 茨城県石岡市大砂10527番地6
ふれあいの里石岡ひまわりの館内
T E L 0299 (22) 2411(代)
F A X 0299 (22) 2440
E-mail shakyou@atlas.plala.or.jp

八郷支所

〒315-0116 茨城県石岡市柿岡2155番地
石岡市農村高齢者センター内
T E L 0299 (36) 4311
F A X 0299 (36) 4312
E-mail ishishakyo.yasato@orange.plala.or.jp